

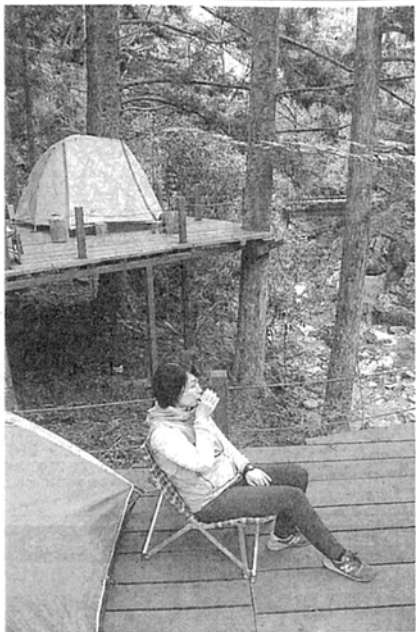
# 大自然の「不便さ」楽しむ

## 掛川明ヶ島キャンプ場再開

掛川市北部の山間部にある「明ヶ島キャンプ場」(同市炭焼)が再オープンした。携帯電話が通じず、外灯もない「不便さ」を売りにしたキャンプ場で、月明かりを楽しみ、鳥や虫の鳴き声が響く自然の空間をアピールしている。

### 携帯圏外 \* 外灯最小限

JR掛川駅から車で約1時間。敷地中央を流れる溪流は、長さ約4260平方



豊かな自然と穏やかな時間を楽しむ「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」

「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」として再オープンした施設には、溪流にせり出す「ウッドデッキサイト」や、森に浮かぶような高台の「ステージ付き区画サイト」(6基)、炊事場などが整備された。コテージ棟はペットを連れて行け、放し飼いができるドッグランもある。

携帯電話の電波は圏外で、外部への連絡手段は管理棟にある有線電話1台のみ。整備を手がけたアウトドアプロデューサーの松山拓也さん(44)は「景観を大切に、電灯や安全柵は最小限の整備にとどめた。何もないぜいたくを楽しんでもらいたい」と話す。

キャンプ場は、市が1978年度に建設し、地元住民でつくる組合などが運営

していたが、利用客の減少に加え、台風被害もあり、2013年度に休止に追い込まれた。地元の建設会社「山田」(山田珠一社長)が市から施設の無償貸与を受け、昨年5月から再整備に着手した。

雨漏りしていたコテージを修繕したほか、うっそうとした樹木を伐採し、駐車場を造成した。4月26日に現地で開催された再開を祝う式典で、松井三郎市長は「伺もないから五感がときずまされ、日頃の疲れを癒やすことができる。多くの人に訪れてほしい」と期待を込めた。山田社長は「地域の皆さんと一緒にキャンプ場を育て、地域の活性化につなげたい」と話した。利用は4月5日月末。料金は4000〜8000円で、環境維持費(1人500円)が別途必要。ホームページ「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」で検索できる。問い合わせは、同キャンプ場(0537・25・2507)へ。